

clarion

取付説明書

NX505

ワイド7型VGA 地上デジタルTV/DVD/SD
AVライトナビゲーション

このたびはクラリオン商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

●取り付けおよび結線を行う前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく作業してください。

●本説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

<お客様へのお願い>
本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店での取り付けをおすすめします。

<販売店様へのお願い>
取り付け完了後、この「取付説明書」をお客様にお渡しください。

クラリオン株式会社

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
Clarion ホームページ
<http://www.clarion.com>
製品についての「よくあるご質問」は以下サイトで閲覧できます。
<http://www.clarion.com/jp/ja/user-support/faq/>

お問い合わせは、クラリオン「お客様相談室」へ
フリーダイヤル ☎ 0120-112-140
受付時間： 9:30～12:00、13:00～17:00
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)
保証書で以下内容をご確認頂くこと、スムーズな対応ができます。
お買い上げ日、販売店名、製品型名

安全上のご注意

必ずお守りください

運転者や周囲の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。以下の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし、説明しています。

⚠

警告

「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠

注意

「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けし、説明しています。

⚠

(注意)

注意しなければならない「注意」の内容です。

🚫

(禁止)

してはいけない「禁止」の内容です。

❗

(実行)

必ず行なっていただく「実行」の内容です。

■ お取り付けの前に

⚠

注意

🚫

(禁止)

- 雨が吹き込むところなど、水のかかることや湿気、ほこりの多いところへは取り付けない
本機に水や湿気、ほこりが混入すると発煙や発火の原因となることがあります。
- 振動の多いところや傾きのある不安定な場所には、取り付けない
本機が外れて、事故やケガの原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところ、本機の通風穴や放熱部をふさぐところには取り付けない
本機に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠

警告

🚫

(禁止)

- 視界や運転を妨げる場所※、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けない
※ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル付近など
交通事故やけがの原因となります。
- エアバック装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない
エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本機や部品が飛ばされ死亡事故の原因となります。

❗

(実行)

- DC12VⓄアース車で使用する
DC24V車(大型トラックや、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。
火災や故障の原因となります。
- 配線作業前に、バッテリーのⓄ端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。
- 本機の電源端子をバッテリーに直接接続する場合は、指定容量以上の電源コードを使用する
指定容量に満たないコードを使用すると、電流量をオーバーし、火災や感電の原因となることがあります。
- ヒューズは規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量以上のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

■ お取り付けのときの注意事項

⚠

警告

🚫

(禁止)

- 分解や改造をしない
分解、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源をとることは絶対におやめください。事故、火災、感電、故障の原因となります。
- 取り付けやアース配線に、車の保安部品※を絶対に使わない
※ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしない
電源コードの電流量をオーバーし、火災や感電の原因となります。
- エアバック装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する位置に配線しない
エアバックが正常に動作しないと、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付けの場合は、パイプ類、タンク、電気配線などに干渉や接触をさせない。
パイプ類などの破損により、火災や事故の原因となります。

❗

(実行)

- コード類は、高熱部を避けて引き回す
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。
- コード類は、運転操作の妨げとならないように引き回す
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- パーキングブレーキコードを正しく配線する
安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

⚠

注意

🚫

(禁止)

- 小物品※は、乳幼児の手の届くところに置かない
※クランパー・ねじ・カード
誤って、飲み込むおそれがあります。
万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

❗

(実行)

- 必ず、付属品や指定の部品を使用する
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定されずに外れたりして、事故や故障などの原因となることがあります。
- 車体に穴を開けてコード類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用する
開口部とコード類との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
- 取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
火災や事故の原因となります。お買い求めの販売店に依頼してください。
- 落下させる、たたくなど強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。
- 取付説明書にしたがって、取り付けや配線をする
誤った取り付けや配線をする、事故や火災の原因となることがあります。
- コード類は、結線終了後 クランプや絶縁テープで確実に固定する
コード類が車体部分との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
- コード類は、車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさみ込まないように引き回す
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- 取付・配線作業後は、車の電装品※の動作確認をする
※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
- 車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける
ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。

⚠

(注意)

製品構成

① 本機(本体).....1

② GPSアンテナ(3m).....1

③ TVアンテナ&アンテナケーブル(4m).....2

④ 電源コード(本体用).....1

⑤ エクステンションケーブル(20cm).....1

⑥ 付属品袋(ネジ).....1

⑦ 付属品袋(コードホルダー).....1

⑧ 保証書.....1

⑨ 取扱説明書(ナビゲーション).....1

⑩ 取扱説明書(オーディオ/ビジュアル).....1

⑪ 取付説明書(本書).....1

⑫ 取付説明書(TVアンテナ).....1

⑬ mini B-CASカード.....1

※③ TV アンテナの取付については、同梱のTV アンテナ取付説明書をご覧ください。

付属品袋 内容一覧

1. エレクトロタップ.....2

2. 取付ネジ (M5x6 マシンスクリュー).....8

3. 取付ネジ (M5x8 サラ).....8

4. GPS アンテナ固定用両面テープ.....1

5. コードホルダー.....9

1

2

3

4

5

取り付けかた

■ 取付上のご注意

1.本機を取り付ける前に、ディスクメカニズム輸送用ロックネジ (本機上部：2箇所)を取り外してください。
輸送用ロックネジが付いたままですと、ディスクを挿入することができませんので必ず取り外してください。

2.本機は、水平面から 30°以内にに取り付けてください。

3.本機には、本体内部の温度を上げないため、ファンモーターが付いています。ファンモーターの排出口をコードや取付ブラケット等でふさぐと、故障または火災の原因となりますので、配線等に注意して取り付けてください。

4.本機のパネル部を開閉する際、一部の車種では車両のセンターパネルと接触する事があります。その場合はセンターパネルを接触しないように加工して取り付けてください。

5.本機を取り付ける際、パネル面を強く押し付けしないでください。強く押し付けると故障の原因となります。

6.車両への取り付けは、一部の車種を除き、車両の取付金具を使用して取り付けすることができます。

7.車種や年式により、専用の取付キットを使用しないと取り付けられない場合がありますので、販売店にご相談ください。

⚠

警告

● 取付ブラケットのネジ穴形状に合わせて、必ず付属のネジをご使用ください。
指定以外のネジを使用すると、事故や故障の原因となります。

MAX 6mm

MAX 6mm

ケース

ケース

■ 取付穴について

本機には、日産車用、トヨタ車用、当社車種別キット用の取付穴が設けられています。当社の取付キット(別売)を使用する場合は、車種によって多少異なりますが、●印穴のいずれかを使用して取り付けます。詳しくは取付キットに同梱の取付説明書をご覧ください。

日産車の場合

左図●部のうち 4カ所を使用して取り付けます。
< 取付ブラケットの例 >

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

トヨタ/ダイハツ・スズキ・スバル車の場合

左図●部のうち 3カ所を使用して取り付けます。
< 取付ブラケットの例 >

①

②

③

④

⑤

⑥

■ 取付例

ここでは、ホンダ車、トヨタ車への取付例を紹介しています。詳しくは、それぞれの車種別に用意された専用取付キット(別売)に同梱の取扱説明書をご覧ください。

ホンダ車への取付例

(別売) 取付キット(ホンダ車用 2DIN スペース取付キット:BKH-023-510)を使用した例です。

本機

取付ブラケット(サイド)
(取付キットに付属)

フィニッシャー
(取付キットに付属)

スポンジテープ
(取付キットに付属)

サラネジ(M5×6)2本
(取付キットに付属)

取付ブラケットを取り付けた後、車側ブラケットと
共締めして取り付けします。

トヨタ車への取付例

車側の取付金具と、(別売) 取付キット(トヨタ車用 200mm フェイスパネル:BKB-048-501)を使用した例です。(★印のネジは車側のネジです。)

M5x6 マシンスクリュー
(本機に付属)

車側ブラケット(金具)

パネルブラケット
(取付キットに付属)

本機

M5x6 マシンスクリュー
(本機に付属)

フェイスパネル
(取付キットに付属)

スポンジテープ
(取付キットに付属)

センターパネル

※ 車側に設けられている、位置
合わせ用の突起が本機にあたり、
組付しにくい場合があります。
その際は突起を金ヤスリ等で削り落とし、取り付け
てください。

■GPS アンテナの取り付け

ご注意

1. 付属の GPS アンテナは、車内専用です。車外への取り付けはできません。
2. GPS アンテナは、車載用機器※ 1、アンテナ類※ 2 から 50cm 以上離して取り付けてください。
車載用機器やアンテナ類の近くに取り付けると、お互いに悪影響を与えあったり、電波が受信しにくくなったりする可能性がありますので必ずお守りください。
※ 1 ナビゲーション本体、ETC 車載器、ビーコンユニット、CD プレーヤーなどのカーオーディオ機器、レーダー探知器など
※ 2 TV アンテナ、ETC アンテナなど
3. GPS アンテナは電波を受信しやすくするために、平らな面に水平に取り付けてください。
4. GPS アンテナのカバーにワックスをかけたり塗装をしないでください。アンテナの受信性能が落ちます。

ダッシュボードに取り付ける場合

1 取付面の汚れをきれいにふき取る

取付面が油分等で汚れていると貼りつかなくなりますので、きれいにふき取ってください。

2 GPS アンテナに両面テープを貼り付ける

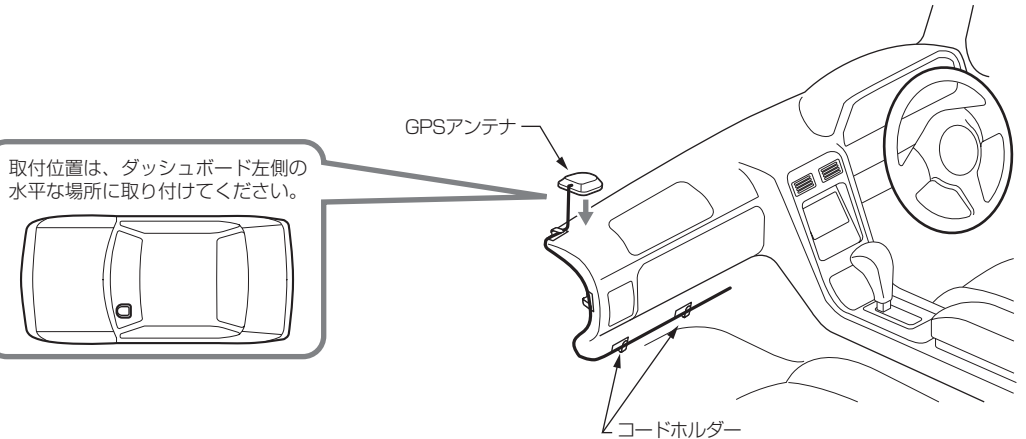
GPS アンテナの裏に、両面テープを貼り付けます。

3 アンテナを取り付ける

GPS アンテナをダッシュボードの電波のささえられにくい平らな場所に貼り付けます。

4 アンテナコードを配線する

アンテナコードを、コードホルダーで固定します。



警告

- エアバックシステムの作動に影響する位置、視界をさえぎる位置には取り付けないでください。事故の原因となります。

取り付けた後におこなってください

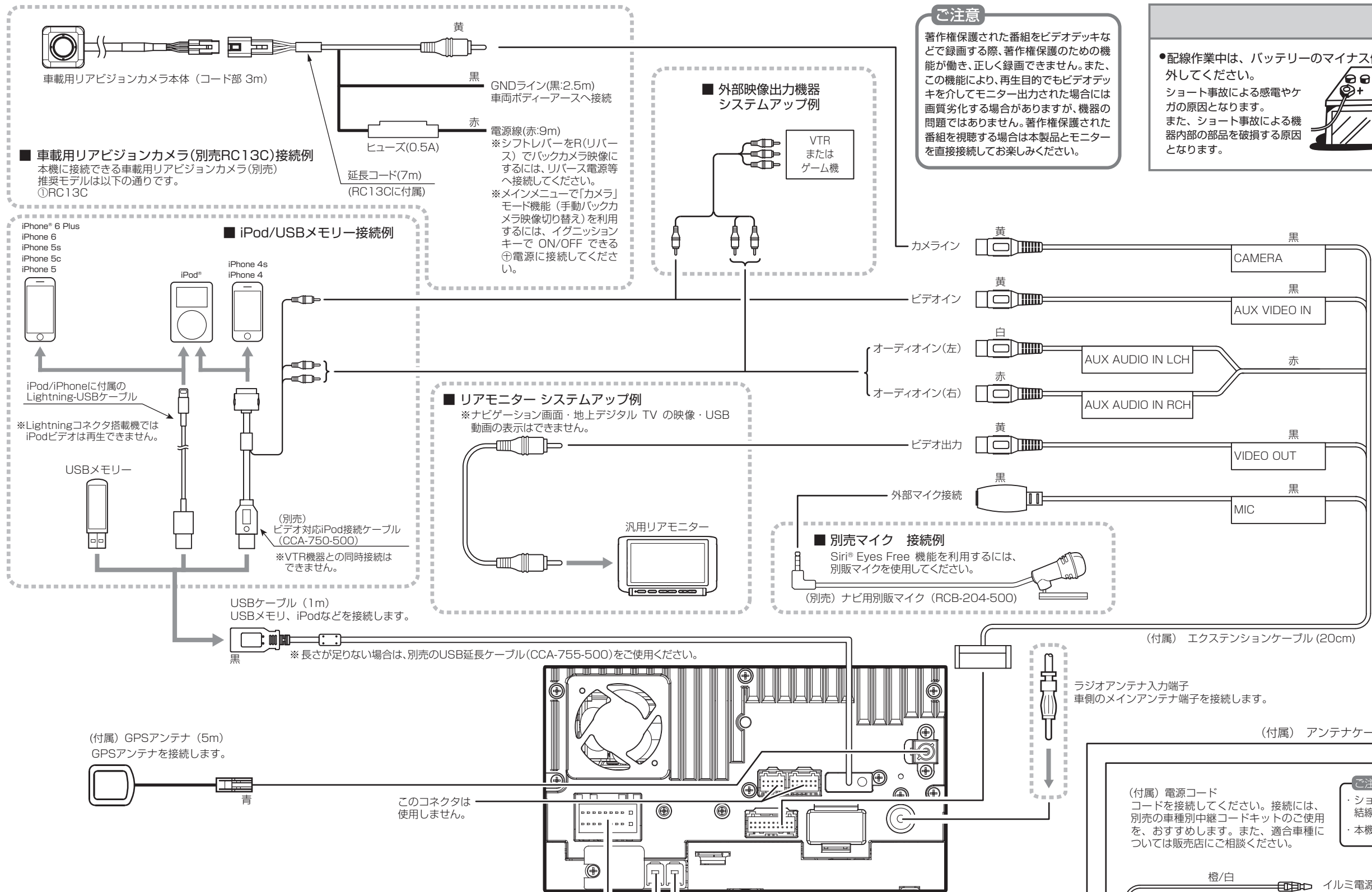
1 自車位置を調整する

はじめてナビゲーションをお使いになる場合は、自車位置マークを実際のお車の位置に合わせるために以下を行ってください。
上空に障害物がない道、または周辺に高いビルがない（GPS が受信できる）道で、約 5 分間、法定内のスピードで定速走行を行う。

結線のしかた

警告

- 取り付け・配線の前に、必ず「安全上のご注意」をお読みいただき、警告・注意事項をお守りください。



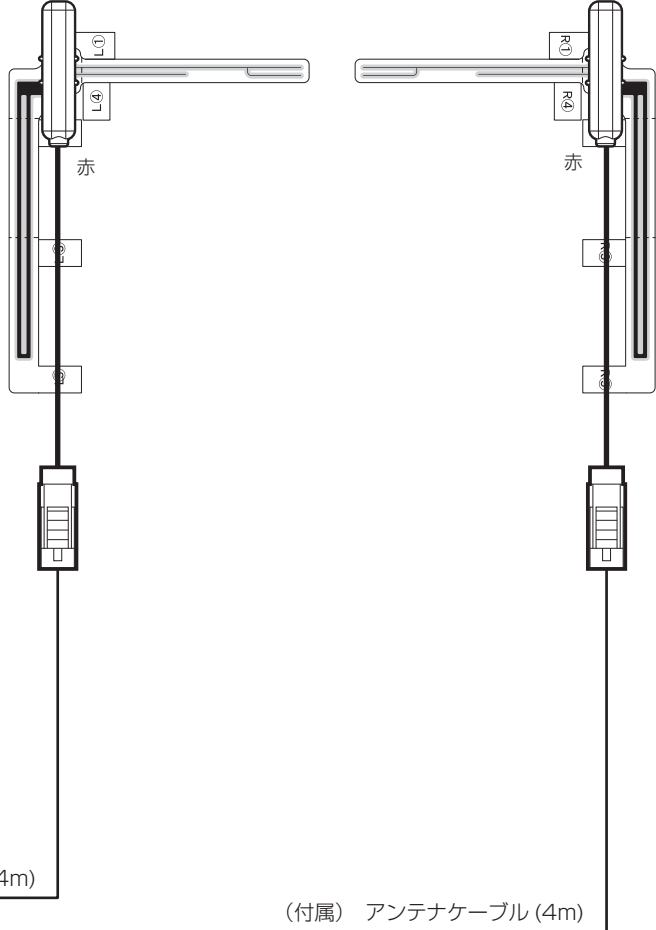
ご注意

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力された場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

警告

- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側のケーブルを外してください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。
また、ショート事故による機器内部の部品を破損する原因となります。
- メイン電源コードを接続する車側電源端子が、15A以上の電流容量であることを確かめください。15A未満のときは、15A以上の容量を持つ電源コードを使用して、バッテリーに直接接続してください。
- バッテリーと直接接続する場合は、容量20A以上で耐熱性を有する自動車用電源コードを使用してください。

取り付け方法については、同梱のアンテナ取付説明書をご覧ください
フィルムアンテナ（左） フィルムアンテナ（右）



ご注意

- ・ショート事故防止のため、電源コネクタを接続する前に、結線内容を再度確認してください。
- ・本機は、車速信号を接続する必要はありません。

（付属）電源コード
コードを接続してください。接続には、別売の車種別中継コードキットのご使用を、おすすめします。また、適合車種については販売店にご相談ください。

- オレンジ/白 イルミ電源コード
スモールランプONで電源が供給される⓪電源に接続してください。
- 赤 アクセサリー（ACC）電源コード
イグニッションキーでON/OFFできる⓪電源に接続してください。

- 黄 ヒューズ 15A
メイン電源コード
常時電源が供給される⓪電源に接続してください。
- 黒 アースコード
自動車の金属部へ接続してください。

- 紫/白 バック信号
ギヤをバックに入れたときに電源が供給される、バックランプ⓪電源などに接続してください。
※カメラを接続しない場合は接続しません。
- 若草色 パーキングブレーキ接続コード
パーキングブレーキランプのアースコード側に接続してください。
※パーキングブレーキに接続しないと、一部の機能が操作できなくなります。
※安全のための結線です。正しく結線してください。
- 茶 このコードは使用しません。
- 青 このコードは使用しません。

- 青/白 アンテナ電源コード
パワーアンテナまたはガラスアンテナ装着車の場合、車側のアンテナ電源端子と接続してください。（ルーフアンテナ等、アンテナプースターの電源供給が必要となる場合も接続してください。接続しないとAMラジオが受信できないなどラジオの感度に影響がでる場合があります。）
- （+）灰 このコードは使用しません。
- （-）灰/黒 フロント右側
- （+）白 フロント左側
- （-）白/黒

- （+）紫 リア右側
- （-）紫/黒 リア左側
- （+）緑
- （-）緑/黒
- ※2スピーカーシステムでご使用になる場合は、接続しません。

スピーカーコード
スピーカー端子と接続してください。

お願い……結線後、テレビを視聴する前に必ず行なってください

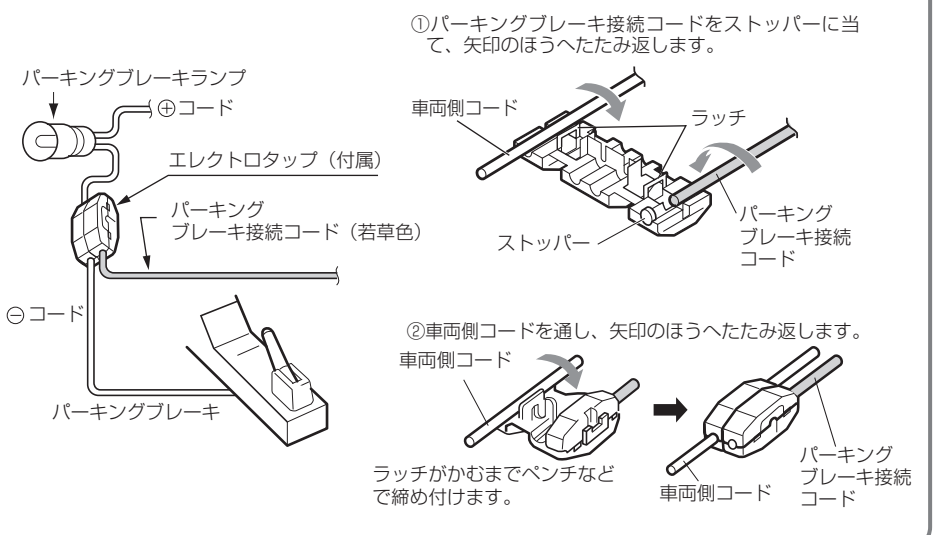
本機結線後、テレビを視聴する前に、同梱されている「mini B-CAS カードの本体への装着」と、地域で受信できる放送局を本機に記憶させる「チャンネルスキャン」を必ず行なってください。（実施しないと、テレビを視聴することができません。）

「mini B-CAS カードの本体への装着のしかた」および、「チャンネルスキャンの実施方法」につきましては、以下に記載されている取扱説明書（同梱）のページをご覧ください。

- mini B-CAS カードの本体への装着のしかた
取扱説明書の 16 ～ 17 ページ「テレビを見る前に」をご覧ください。
- チャンネルスキャンを実施方法。
取扱説明書の 17 ページ「はじめてテレビを観るときは」をご覧ください。

パーキングブレーキ接続コード

付属のエレクトロタップを使って、各信号線と接続してください。



ヒューズ

ヒューズが切れたときは、ショート事故防止のため次の手順で、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

1. 本機のメイン電源コード（黄色）と接続している車側の電源コードを抜きます。
2. 結線が正しいか確認してください。
3. 確認後、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

注意

車側の端子は他の金属部に接触させないようにしてください。

電源およびスピーカー端子

端子の接続は、オスとメスがロックするまで差し込んでください。オス端子が下図Ⓐタイプの場合は、メス端子のスリーブを約 5mm カットしてください。

注意

- ・アンテナ電源コードは専用端子ですので、他の機器や手動または半手動のアンテナ装着車には接続しないでください。
- ・接続しない端子は、金属部に触れないように、端子を絶縁テープなどで覆ってください。

